



学園通信

練馬区立大泉学園中学校

令和元年6月26日発行 校長 晴佐久和彦

様々な学び

蒸し暑さの中、6月も終わろうとしています。ここ3日間は一学期期末考査が実施されています。生徒ごとに自身の目標を定めて全力で取り組み、学習を通してそれぞれの力を着実に伸ばしていってくれることを、心より期待しています。ところで、定期考査の時期になると私自身の中学時代のいくつかの場面が思い浮かぶことがあります。試験勉強をされていて机で寝てしまい、朝4時頃目が覚め、慌ててその日の科目の勉強をしたこと。勉強が足りず、数学の図形問題を前にして頭を抱えてしまったこと。その他もろもろですが、失敗も含めてこうした努力の軌跡が今の自分につながっているような気がします。「生涯学び続けること」の基礎を形成する大切な中学時代です。試験を一つのきっかけとして、幅広い学力の向上に加えて、人間的にも成長してほしいと願っています。

さて、6月はそれぞれの学年で行事がありました。1年生は職業講話、2年生は福祉講演会やバリアフリー体験、そして、3年生は中学校での学習のまとめとして「修学旅行」を行いました。ここでは3年生を引率して感じたことを少し述べてみます。

初日の奈良は日曜日ともあいまって人出が大変に多く、班行動も大変でしたが、法隆寺、東大寺そして新装なった興福寺を見学して、貴重な経験を積みました。また、宿で行った漆器への絵付け体験は、丁寧に仕上げている生徒が多く感心しました。そして2日目の奈良から京都に向かう1日班行動。前日の行動面での反省を生かして、多くの班が時間を意識し、まとまって行動できました。私は伏見稲荷、龍安寺、清水寺で各班の様子を見ましたが、興味深く寺社仏閣の佇まいに見入っている様子があり、京都を満喫しているように感じました。自分達のペースで見学できるのが班行動の良さだと改めて思うところです。そして最終日には宿の方やタクシーの運転手の方にも自然とあいさつが出来る生徒の様子があり、3日間での成長の跡が感じられました。

事後に、実行委員会による「修学旅行便り」が配られました。班行動、ルールなどでいくつかの反省点は出ましたが、全員が「学習を深められた」と回答し、「修学旅行が今後の学校生活につながる行事になった」との回答をしてくれたのも全員でした。この修学旅行の取組が、日頃の学校生活ではなかなか得ることの出来ない貴重な学びとなったことが伝わってきます。3年生の皆さんには今後の最上級生としての一層の活躍を期待するところです。

※写真は左から「法隆寺五重塔にて」「東大寺大仏殿前」「漆器の絵付けに挑戦」



歯磨きコンクール

6月3日（月）～7日（金）の期間で歯磨きコンクールを実施しました。昼休みに歯を磨いている人数を保健給食委員が数え、トータルで歯磨きをしていた人の人数が多かったクラスを表彰しました。今年度は、優勝クラスの達成率は100%で3クラスありました。優勝クラスは3年A組、3年B組、3年D組でした。生徒朝礼で表彰されました。永久歯は生え替わることがなく一生使う大切な器官になります。歯科検診で治療等指摘されている生徒は早めの治療をしていきましょう。厚生労働省と日本歯科医師会では「80歳まで20本」が目標になっています。歯磨きコンクールをきっかけに、歯磨きを習慣化して丈夫な歯を維持しましょう。

職業講話

6月8日（土）9：45から武道場で1年生を対象に職業講話が行われました。講師として株式会社河野保険事務所代表取締役 河野 孝史 様（昭和54年度卒業・18期）、株式会社 あわ家惣兵衛代表取締役社長 佐藤 公明 様（昭和52年度卒業・16期）をお招きして職業に対する認識を深め、その人の生き方に学び、自分自身の将来について考えるというテーマで職業講話を行いました。各講師の先生方の貴重な体験に基づいたお話の概要と生徒の感想（学年だよりより抜粋）をお伝えします。

「自分にとって正しい選択ができるように、いろいろなことをやってみよう」

～嫌いなことにも興味をもつことは大切～

河野孝史様のお話

私が中学生だったころは1年生が11クラスありました。A～K組まで1000人以上いて、校舎に入れず2階建てのプレハブ校舎で過ごしました。2年生のときに北中ができて4クラス分が転校しました。私は中学、高校、大学と運動一筋でした。大学3年生の頃から何の仕事をしようかなと考え始めました。父親が保険代理店をやっていたので少し興味はありました。別の職業も考えましたが怪我や様々なことがあり今の職業にしました。



保険の仕事は形のない商品売っているのになかなかイメージできないと思います。例えば事故が突然起きると生活がガラッと変わってしまいます。生活の変化を最小限にしたいと、安心して生活する手助けをする仕事です。この仕事をやっていてやりがいがあり、選んでよかったです。

やりたいことは1つに決めないでいろんなことをやってほしいです。私は今でもいろいろな人から話を聞き、考えながら仕事をするのが楽しいです。楽しいこと以外にも興味をもつことは大切なことだと思います。将来自分にとって正しい選択ができるよう、今から興味をもって、挫折してもいいから、もっといろんなことをやって楽しい人生を送ってほしいです。

「今できることを一生懸命に 学ぶ癖をつけよう」

佐藤公明様のお話

インターネットは広い世界のイメージがありますが、本当に広いのでしょうか。実際に町を歩くと世の中って広くないですか。走ったり、自転車に乗ったりするといろいろなことに出会えます。つまり気づきや学びがあるのです。人生回り道したからこそ、すごくたくさんの人に出会いました。この人変わっているなとか、おもしろいな、すごいなあとか。ラインの世界は狭い、本当にリアル

な世界を学んでほしいです。学校で学ぶことはたくさんあるけれど、今のうちにいろいろ経験しておいた方がよいです。様々な経験が人生につながっていくものです。

勉強しないと社会に出て知らないことが多すぎます。将来、大切な人を守ろうとしても何にも知識がなかったら、守ることはできません。学ぶことの癖付けをしましょう。必ずどこかで使うことになります。1個たりとも無駄なことはありません。職業は選べるからこそ難しいのです。難しいからこそ今できることは一生懸命することです。勉強でも、部活でも。そして、目標を見つけることです。目標があれば、準備をしなければなりません。この準備が大切なのです。

—生徒の感想—

・いろいろなことに興味をもつことが大事だと思いました。いろいろなことに興味をもつことで世界が広がるからです。最初から世界を狭くしないために、嫌いなことにも興味を持つことが大事だということを学びました。

・「いろいろやりたいと思う気持ちをもつ」という言葉が心に残りました。河野さんの仕事は楽しく、やりがいがあり、人のためになる仕事です。てきだなあと感じました。私も将来やりがいを感じたり、人のためになる仕事をやりたいと思います。

・勉強をさぼって社会にでるより、勉強をしていろいろなことを知ってから社会に出た方がよっぽどいいことがわかりました。そして自分の目標を見つけだすことが大事だとわかりました。

・河野さんのお話を聞いて、興味をもつ大切さなどを学びました。私は特にきれいなことに興味を持つことも大切ということと、人生には選択する時が必ずくるということに納得しました。



福祉講演会

2年生は、5月29日（水）5校時、6月7日（金）5・6校時を使って体育館で福祉講演会を行いました。9月に行われる「職場（福祉）体験学習」に向け、5月29日の講演会では「フクシのコト」について東京都福祉人材センター稗田重美様を講師としてお招きして以下の内容について話を聴き、学習しました。

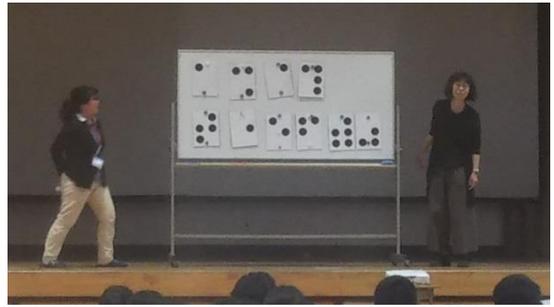
- 1 私たちの身近な「フクシ」
- 2 「フクシ」って何だろう？
- 3 「フクシ」のサービスの対象者は？
- 4 「障がい者」とは？
- 5 様々な「フクシ」
- 6 もっとフクシを知るなら



6月7日の講演会ではテーマ『職場体験学習に向けて～

視覚障害の方とのふれあい』という内容で練馬区視覚障害者福祉協会会長、的野碩郎様を講師としてお招きして講演が行われました。的野碩郎様からは、視覚障害者を見たらとにかく声をかけて欲

しい、声をかけるときは具体的に上とか下とか2m先と言ってほしいと説明がありました。点字の習得は読むよりは書く方が大変であることやクイズ形式で点字の読みを楽しく学習しました。生徒と講師の的野さんと視覚障害に対応した形のオセロゲームをやり交流を深めました。



☆生徒の感想など

・体の不自由な方への接し方が分からなかったが、声をかけていいという言葉を受け、自分から行動していこうと思った。目が見えないのに明るく前向きな言葉が多く、優しい雰囲気だったので、とても強い心を持った人だと思った。体の不自由な方だけではなく、困っている人がいたら積極的に声をかけていこうと思った。



・目の見えない人がいても、今まではどうすればいいかわからず、そのまま通り過ぎていたけど、今日の講演会で勇気を出して話しかけてみようと思った。また、福祉についてもっと知りたいと思ったので、家に帰ったら調べてみたい。

・町中で白い杖を持っている人を見かけるときがあるので、もしもその人が困っていたら、自分から声をかけたいです。視覚障害者の人もぼくたちと同じ生活を送っていると知って、すごくおどろきました。

第1回 学校評議員会

6月14日(金)の10:30から今年度第1回の学校評議員会が開催されました。校長あいさつ、評議員の委嘱、自己紹介のあと、今年度の学校経営計画と各学年から生徒の様子や学校予算について説明をさせていただき、意見交換を行いました。経営計画として基本的生活習慣(「あじみこし」あ:あいさつ・じ:時間を守る・み:身だしなみ・こ:言葉遣い・し:姿勢)を身につけることや今年度から校内に特別支援教室(My step up room)が開設されたこと、学校の休日等の電話対応が変更になったこと、部活動のあり方などについて説明をしました。



学校評議員の方からは、「あいさつは大切な習慣です」とご指摘がありました。また、「1年生は元気がよく、自由にやらせてあげたい気もします」と評価していただきました。学園中の生徒で気になることとして「集団になって行動することは多いですか」という質問や「あまり目立たない子にも目を向けてほしいですね」とご意見をいただきました。意見交換会の後に各学年の4校時の授業を参観しました。授業の様子からは「静かに授業を受けています。私語をしてしまう子も認めて欲しいと思っているのではないのでしょうか」と評価していただきました。秋に第2回の学校評議員会を予定しています。いただいたご意見を基に、改善に取り組んでいきたいと思っております。ご参加くださった学校評議員の皆さま、ありがとうございました。

福祉体験

7月3日（火）の午後に学校図書館、武道場、体育館で車いす体験、白杖（はくじょう）体験、ゴールボール体験、高齢者になった時の体の不自由さや視界の不明瞭さなどの体験を行いました。お年寄りや障がいのある方の立場に立つことで、どのような手助けを必要としているのかを理解し、小さな段差も車いすを操作するときは思いの外、大きな障害となることを学んでいました。

事前学習を通して学んだことを、実際に高齢者施設や障がい者施設で職場体験学習をする際に活かせるよう、準備を進めていきます。